

No.	11-1-4	場所	飯島町日曾利	次世代への継承キーワード
名称	日曾利地区の被害			前兆現象
災害現象	土石流・洪水氾濫			河川 南カ沢
補足事項				支流

日曾利では天竜川沿いの低い場所にあった田畑が冠水したほか、南カ沢など集落へ流れ込む沢沿いで大きな被害が発生した。架かっていた橋は流され、谷底の家屋をひと呑みにし、15戸が流失・全壊した。床上浸水も253戸と集落の大半が被害を受け、1名の命が奪われた。

●体験談：当時、飯島小学校教頭

日曾利部落の人家の多くは谷と谷との間の高台にあるが、部落のほぼ中央を流れている南ヶ沢には、谷底に人家が上から下に、一列に50mないし100mぐらいいおいて三戸があり、土蔵・納屋等を入れて七棟ほどの建物があった。

二十七日午後、谷底にわずか1m幅ほどの溪流であった水も相当に増えてきた。子供は午前授業で早退集団帰宅をして午後二時ごろに帰って、皆高台の親類の家へ預けた。

午後四時ごろ「どどどっ」という大きく無気味な地鳴りがした。荷をまとめていた大人たちは「それ！」とばかり高台に逃げた。濁流は谷をみなぎって流れ、住居は床上40cmばかり浸水した。一時間ほどで屋内の水もひけた。二十八日午前一時ごろ、ものすごい地鳴りとともに山津波がやってきた。これが谷底の建物を一時に流し去ってしまった。高台の家の人々の体をゆするすごい地響きと大きな音に、驚きと恐怖で家をとび出した人々の前には、今まで谷をうめて茂っていた大木の林や、七棟の建物は跡形もなく、ただ深く広く谷いっぱいえぐりとらえていた。水さえもない赤肌と化した谷があっただけであった。

（「飯島町誌 上巻」より）

記 録



河川の氾濫や土石流で被災した日曾利地区

出典	「飯島町史 上巻」p.392、393		
備考	概要欄の< >は編者が補足説明したものです。		

No.	11-1-4	場所	飯島町日曾利	緯度	35.679156
-----	--------	----	--------	----	-----------

名称	日曾利地区の被害	経度	137.952855
----	----------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。